

ローダーを起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
1999	4	10 ～ 11	ショベルローダーで鉄筋をトラックの荷台に積載し、トラックの荷台から地上に降りたときに、ショベルローダーが前進してきて、トラックの荷台とショベルローダのバケットとの間に挟まれた。	80209	7	0
1999	6	14 ～ 15	地上3. 8mのプラント操作室壁面の塗装作業で、ショベルローダーのバケットに乗って塗装作業を行い、少し前に出して上に上げるよう指示し、サイドブレーキを解除したところわずかに前に動いたため、プラント操作室とバケットとの間に挟まれた。	30209	7	10 ～ 29
2000	9	15 ～ 16	公園の隣りにある物置解体後の後片付け作業で、作業に使用していたローダーより降りようとしたときに、ローダーが動き出してひかれた。	30109	7	1～ 9
2000	9	11 ～ 12	ブロイラーを出荷したのち鶏舎を清掃し、ショベルローダに鶏糞を積載してバックで鶏舎から集積倉庫へ私道を走行中、右側の約2m下の小川へショベルローダとともに転落した。	170209	1	100 ～ 299
2000	8	15 ～ 16	トラックに丸太(長さ約4. 6m、推定重量3t)を積み込むためフォークローダーのフォークに丸太を載せたままトラックの側に停車し運転席から離れたときに、フォークに載せられた丸太が動き出し、トラックとの間にいたローダ?の運転者に激突しトラックと丸太の間にはさまれた。	10401	6	10 ～ 29
2001	5	23 ～	ショベルローダー(最大荷重2. 4t)で古紙をコンベアに投入する作業を行っていてショベルローダーの前輪にひかれた。	10601	1	10 ～

		24				29
2002	4	10 ～ 11	過燐酸石灰を搬送するベルトコンベアの修理のため、バケット容量1?のショベルローダーのバケットに乗って移動中に、高さ4.6mの位置にあった鋼製の足場補強構造物とバケットとの間に頭部を挟まれた。	10809	7	30 ～ 49
2002	7	21 ～ 22	航空機の修理のため空港内駐機場場に駐機し、横付けしたカーゴローダーに設けられた幅74cmの補助プラットホーム上を通過して貨物庫内に入ろうとしたところ、補助プラットホームを固定する門が外れていたため足がかりを失って約2.8m下の地上に墜落した。	40103	1	100 ～ 299
2003	4	13 ～ 14	工場の敷地内で、スケール（酸化鉄）置場からスケールをショベルローダー（最大積載荷重2.4t）で貨物自動車（積載荷重18t）に積込んで運送する作業中に、貨物自動車のあおり（3.1m）とショベルローダーの間にはさまれて死亡していた。	80209	7	1～ 9
2003	10	10 ～ 11	産業廃棄物（木皮、木屑等）を処理するため、ショベルローダーのバケットで木屑をすくって粉砕機へ投入しようとしていたときに、ローダーが前方へ転倒して粉砕機を載せた台車に激突したため、台車が移動し台車とコンクリート塀の間にはさまれた。	150102	7	10 ～ 29
2004	10	16 ～ 17	事業場内の草刈作業において、刈取った草をショベルローダーのバケットに入れるため坂（幅：4m、勾配：6度）にショベルローダーを停車させたところ、ショベルローダーが動き出し、ショベルローダーとともに出入口の坂の法面（のりめん）（勾配：38度）から1.5m下のコンクリート面に転落し、ショベルローダーの下敷きになった。	10601	1	100 ～ 299
2004	6	11 ～ 12	トラックで運んできた醤油粕を置くためのスペースを作るため、ショベルローダーを使って構内の醤油粕を移動する作業を行っていたところ、突然ショベルローダーが左へ横転し、被災者に激突した。	170209	1	10 ～ 29
2004	4	13 ～ 14	構内の再生骨材資材置場で破碎プラントのスクリーンの網の交換作業をするため、ショベルローダーを網の下に位置するように停止し、ショベルローダーの前タイヤに乗っているとき、足を滑らせ1.5m下の地面に墜落した。	10909	1	30 ～ 49

2004	8	0 ～ 1	粗大ゴミ処理施設において、廃棄物の荷卸作業中にバックしてきたショベルローダーにひかれた。	30202	6	1～ 9
2004	2	8 ～ 9	建設機材倉庫敷地において、倉庫整理係の被災者がショベルローダーを運転して敷地内の除雪作業中、ショベルローダーが猛烈なスピードでバック走行し、運転席が倉庫内の中2階の梁に激突したため、運転席が押しつぶされ、運転席の天井部分で挟まれた。	30199	3	50 ～ 99
2004	10	13 ～ 14	原料倉庫内において、ショベルローダーにより菜種粕の山の整理作業を終えた被災者がショベルローダーを後進させたときに、前輪が側壁に接触し運転席から投げ出され転落し、ショベルローダー後輪と側壁に挟まれた。	10809	7	10 ～ 29
2005	6	10 ～ 11	トラック運転席上部にあるシートバケットへシートを載せるため、バケットを地上から7mの高さまで持ち上げて停止させ、シートをシートバケットへ載せようとしたところ、誤まって足を踏み外し、地上に墜落した。	80109	1	1～ 9
2006	1	4 ～ 5	ショベルローダーで肥料の原材料が入ったフレコンバックを吊り下げホッパーへ同原材料を投入していたところ、吊り下げていた同バックのロープが切れて被災者に落下した。	10809	4	10 ～ 29
2007	7	9 ～ 10	ショベルローダーで後退中、右後部が4段に積まれていたフレコンバック（Φ約100×75cm、約1t）に接触し、崩れてきたフレコンバックが被災者の上に倒れてきて、運転席から身を乗り出していた被災者に当たった。	10909	5	30 ～ 49
2011	4	11 ～ 12	被災者は同僚1名とショベルローダー（以下「ローダー」という。）で上屋4番口内にある粉状の肥料を上屋1番口に運搬する作業を行っていた。上屋4番口内で被災者はローダーのバケットを接地せず、エンジンをかけたままパーキングブレーキをかけた状態でローダーから降りていたところ、被災者が降りたローダーが動き出し、上屋の壁とバケット	50201	6	50 ～ 99

			に挟まれたもの。挟まれている被災者を同僚が見つかり、病院に搬送されたが死亡した。			
2011	11	11 ～ 12	廃棄物処理施設において、不燃ゴミの運搬を行っていたショベルローダーが後退したところ、付近を歩行していた被災者がひかれ、その後、収容先の病院にて死亡した。	150102	7	10 ～ 29
2011	2	9 ～ 10	民家の庭木剪定作業において、被災者は三脚（高さ3.5m）を用いて樹木を剪定していたところ、第三者の運転する小型ショベルローダーが三脚に接触し、その衝撃でバランスを崩して地面に墜落、頭部を強打したものの。墜落した高さは、樹木の剪定状況から、1.5m程度と推定される。	60101	6	1～ 9
2011	5	9 ～ 10	工場敷地内で、被災者運転のショベルローダーが、隣接する用水路（深さ約2m、幅約5m）に転落し、転落の際に運転席から投げ出され首などを強く打ち病院へ搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。	10901	1	50 ～ 99
2016	11	14 ～ 15	被災者がフォークローダーを運転し、一人でチップの集積作業を行っていたところ、フォークローダーもろとも岸壁より海に転落した。	40301	1	50 ～ 99
2016	8	16 ～ 17	事業場敷地内において、労働者がトラックの後部で廃材の選別作業を行っていたところ、他の事業場所属の労働者が運転するショベルローダーが後退してきて、ショベルローダーとトラックの間に挟まれ死亡に至った。	10401	7	10 ～ 29
2016	1	20 ～ 21	ショベルローダーを用いて、産業廃棄物の燃え殻を汚泥ピットに投入する作業を行っていたところ、ショベルローダーとともに汚泥ピット（深さ約5.4m）に転落した。	150102	1	30 ～ 49
2018	8	16 ～ 17	被災者は、1人でショベルローダーの点検整備作業（オイル交換、各部清掃及びグリスアップ等の作業）を行っていた。ショベルローダーの前方左右2箇所油圧ジャッキをかけ、車体を浮かせて、左右の前輪を外した状態で、車体下部に仰向けの状態で入り、グリスアップの作業を行っていたところ、ジャッキが外れ被災者は、車体が落下しその下敷き	11702	6	1～ 9

			となり、病院に搬送されたものの、死亡したもの。			
2018	1	12 ～ 13	トラクターショベルで駐車場の除雪作業中に、誤って約8m垂直に墜落した後、斜面を約6.9m転落した。運転者は、2点シートベルト及び、墜落・飛来兼用型ヘルメット着用、左ドアを開放した状況で、車体屋根部が大きく屈曲損傷し、座席と屋根にはさまれたまま死亡していた。除雪の積雪深さは50cm天候はくもり。視界は良好であった。	170209	1	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_05.html